

あっという間に最終戦と言う感じですが鈴鹿サーキットはF1も開催される世界でも有数のサーキットになります。

今回はテストの時間がなくてほぼ岡山からそのままのセットですがエンジンに関しては最終スペックにしてチャレンジしてみました。

ドライバーはAドライバー-村上、Bドライバー-TOMISAN、Cドライバーが脇谷選手です。



10月23日金曜日 公式練習

1枠目はAドライバーの村上がコースインしマシンの最終チェック。タイムも2分25秒台で決勝のペースはいい感じを掴み残りはマシンに慣れるべく2人が精力的に走り込みしてロガーでチェック。今回も一発の速さは厳しいですが安定した走りが出てるので決勝に期待です。

10月24日土曜日 公式予選日

朝一のウォームアップ走行でバウステのポンプが故障して急遽交換作業に入ります。無事に交換を進めてくれましたがAドライバーの村上からコースインしてすぐに水温が高いことに気付く。しばらく走りますがエンジンの調子が悪く不本意なアタックで終わります。残りの2名も水温が上がる前にアタックをお願いして最悪の事態を避けるために1アタックで終了。合計タイムでクラス16位で決勝に臨みます。

10月25日曜日 決勝

夜のうちにメカがエンジンの載せ替えをしてくれましたが朝のフリーでクラッチが不良。またも急いで交換してくれましたが流れが悪い・・・。決勝はスタートドライバーはAドライバーの村上。スタートからロングスティントの予定です。ローリングスタートから3時間のレーススタート。前車の86のミスなどもあり少しずつ順位があがり15周目にセーフティーカーが入りここでドライバー交代で脇谷選手に交代。9位でコースに復帰してポイントゲットに近づきます。そこから17周走ったところでTOMISAN選手に交代。残り1時間10分です。順調に走って残り40分のところでヘアピンでマシントラブルのポルシェに横から追突されてそのままガードレールに激突。フロント、リア共に大きく大破してそのまま無念のリタイアとなりました。ドライバーのTOMISAN選手には大きな怪我もなく一安心です。

Aドライバー 村上選手

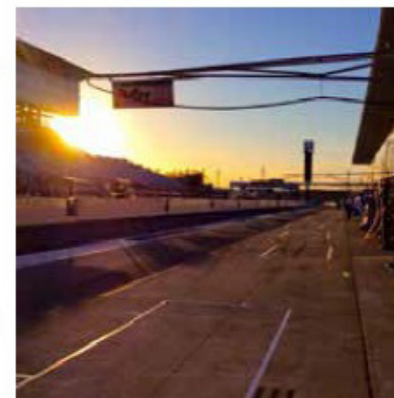
決勝ラップはみんな良かったのでリタイアは本当に残念ですがドライバーに怪我無かったのが一番です。

Bドライバー TOMISAN選手

良いペースで走ってたのですが突然車両が飛んできて対応する間もなくガードレールでした。申し訳ないです・・・。

Cドライバー 脇谷選手

セーフティーカー導入で慌たしい中、冷静に走れたことはよかったです。リタイアは本当に悔しいです。



総括 チームオーナー-村上

金曜、土曜とトラブルが多くバタバタしましたがその流れのままこのような結果になったのは本当に残念です。レース後の車両の状況を確認してあまりの大破に愕然としましたが人が出なかったことに感謝です。1年間あっという間に終わりましたがチャレンジするという強い気持ちの中攻めていきましたが結果に結び付かず本当に悔しいです。

まだ夢半ば、なんとしてもロードスターで表彰台に立ちたいです。来季に向けて準備を進めていきますのでぜひ皆様のお力添えよろしくお願いします。

そして一年間支えて頂き感謝です、本当にありがとうございました。